学校番号	3010

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

教科	工業	科目	インテリアデザイン製図	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	インテリア製図（実教出版）						
副教材等	新しい建築の製図（学芸出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業のインテリアデザイン分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるように学習します。住空間や、店舗等インテリアデザインに関する空間の設計を学びます。平面計画から完成予想図の作成を通して製図の基礎的な知識と技術を習得させることを目標とし、総合的にまとめる能力を身に付けます。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

・製図や設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する視点で捉え、日本工業規格(JIS)など製図に関する規格と関連付けて考察する。 ・実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業のインテリアデザイン分野における図面の作成及び図面から製作情報を読み取ることができるようにする。 ・作品作りを通して主体的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業のインテリアデザイン分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解する。工業のインテリアデザイン分野に関する製図について、関連する技術を身に付ける。	製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業のインテリアデザイン分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	インテリア製図基礎①	・製図第一課題の理解 ・住空間又は店舗等の設計条件理解 ・コンセプト考察 ・立地・構造理解 ・プランゾーニング ・仮模型制作 ・設計製図手順 ・図面レイアウト ・図面の下書き ・図面の本書き ・仕上げ	a：インテリアデザインの設計製図における設計力、製図を作成する力を身に付けている。 インテリアデザインの設計製図における基礎的知識を身に付けている。 b：インテリアデザインの設計製図に関する思考と判断ができている。 c：インテリアデザインの設計製図に興味・関心をもち、主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等
2	インテリア製図基礎②	・製図第二課題の理解 ・住空間又は店舗等の設計条件理解 ・コンセプト考察 ・立地・構造理解 ・プランゾーニング ・仮模型制作 ・設計製図手順 ・図面レイアウト ・図面の下書き ・図面の本書き ・仕上げ	a：インテリアデザインの設計製図における設計力、製図を作成する力を身に付けている。 インテリアデザインの設計製図における基礎的知識を身に付けている。 b：インテリアデザインの設計製図に関する思考と判断ができている。 c：インテリアデザインの設計製図に興味・関心をもち、主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等
3	インテリア製図基礎③	・製図作品まとめ ・コンクール作品出品 ・プレゼンテーション ・展示 ・自己評価	a：図面の設計力、製図を作成する力を総合的に身に付けている。 d：図面の基礎的知識を身に付けている。 b：設計製図に関する思考と判断ができており、それらを伝えるための表現ができている。 c：インテリアデザイン設計製図に興味・関心をもち、主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製図作品 レポート 発表 自己評価・相互評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度